

町立奥出雲病院 新改革プラン 点検・評価
(平成 30 年度)

1. 事業報告

(1) 外来・入院患者数の動向

外来患者数は1日平均153.3人、年間延患者数37,394人で前年度比較987人の増加（対前年度比102.7%）、入院患者数は1日平均108.2人（病床利用率77.3%）、年間延患者数39,496人で前年度比較974人の減少（同97.6%）となりました。

外来患者数は常勤医師が年度途中で1名増となったこともあり、増加となりました。一方、入院患者数は冬季の患者数が例年より少なく、前年より減少となりました。

(2) 収益的収支

本年度の総事業収益は1,978,666千円で前年度比較49,165千円の減収（対前年度比97.6%）、収益構成は、医業収益が1,518,383千円（同97.8%）、医業外収益が460,197千円（同96.7%）、特別利益86千円（皆増）です。入院患者数の減少と勘定科目の仕訳の組み替えを行ったことが主な収益減の要因です。

一方、総事業費用は1,978,584千円で、前年度比較45,131千円増加（対前年度102.3%）しました。内訳は医業費用が1,886,682千円（同103.0%）、医業外費用が91,817千円（同89.5%）、特別損失85千円（皆増）です。医業費用の主なものは、給与費が1,228,951千円、材料費が187,247千円、経費が277,236千円、減価償却費が187,121千円でした。

以上により、営業（医業）損失は368,299千円、経常利益は81千円、純利益は82千円となりました。

(3) 資本的収支

資本的収入は政府企業債などの起債による借入63,700千円と建設改良に対する県補助金5,205千円及び一般会計負担196,017千円で合計264,922千円でした。資本的支出は建設改良費69,328千円と企業債等償還元金313,294千円で合計382,622千円を支出しました。資本的収入額が支出額に不足する額117,700千円は、損益勘定留保資金で補填しました。

(4) 今後の課題について

①経営改善

安定した地域医療を提供できる経営体制を築くため、収入の柱である常勤医師の人員確保、病院機能や診療報酬等の分析検討などの取り組みを更に推進します。また、経費面についても効率化・合理化による節減を図り、引き続き、経営改善に努めます。

②常勤医師の確保

常勤医師については、島根大学医学部附属病院からの派遣を中心としていましたが、近年は様々な状況の変化により大学病院からの常勤医師の派遣については困難な状況が続いております。今後も引き続き、県内の医師派遣の中心である大学病院との関係を更に深められるよう、継続した取り組みに努めます。また、島根県が派遣する自治医科大学出身医師については、優先順位や派遣基準により派遣実績はありませんが、今後も派遣基準の対応や受け入れる環境づくりなどを検討しながら派遣要請を継続し、又、国の示した「医師偏在指標」などを参考に都

道府県が医師確保計画を策定し、偏在解消に向けた取り組みを推進されるため、指標では「医師少数区域」である雲南圏域内の医療機関として、島根県との協議を重ねて行きます。

③医師の働き方改革

医師については、国から「医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組」として様々な改善内容が通知されております。特に医師の人員体制の厳しい当院にとっては大きな課題ではありますが、島根大学医学部附属病院を中心として、他の医療機関などからの支援を受けながら対応に努めます。

2. 数値目標

(1) 医療機能・品質等指標に係る数値目標

項目	年度	29年度 実績	30年度			摘要
			目標 ①	実績 ②	差 ②-①	
研修医受入件数		3 件	5 件	5 件	0 件	
在宅復帰率（包括）		82.0 %	84.7 %	81.3 %	△ 3.4 %	
平均在院日数		19.0 日	18.0 日	18.3 日	0 日	
分娩件数		56 件	82 件	50 件	△ 32 件	
褥瘡発生率		2.6 %	1.05 %	1.7 %	0.7 %	
転倒・転落発生率		3.5 ‰	3.25 ‰	3.56 ‰	0.31 ‰	
医療相談（MSW）		2,961 件	2,550 件	2,810 件	260 件	
定期カンファレンス（リハ関係）		36 回	36 回	36 回	0 回	

(2) 経営指標に係る数値目標

項目	年度	29年度 実績	30年度			摘要
			目標 ①	実績 ②	差 ②-①	
① 収支改善に係るもの						
経常収支比率		104.9 %	108.8 %	100.0 %	△ 8.8 %	
医業収支比率		84.8 %	89.5 %	80.5 %	△ 9.0 %	
医業未収金		2,516 千円	3,300 千円	1,905 千円	△ 1,395 千円	
② 経費削減に係るもの						
給与費対医業収益比率		74.8 %	70.9 %	80.9 %	10.0 %	
材料費対医業収益比率（薬品含む）		13.5 %	14.4 %	12.3 %	△ 2.1 %	
委託費対医業収益比率		8.1 %	7.0 %	8.9 %	1.9 %	
後発品使用割合		80.2 %	68.5 %	83.6 %	15.1 %	
薬品在庫の適正化		4,304 千円	4,900 千円	4,107 千円	△ 793 千円	
検査試薬等納入価		0.1 %減	3.0 %減	1.2 %減	△ 1.8 %減	H29よりH27実績の3%減を目標
③ 収入確保に係るもの						
入院患者数		40,470 人	43,800 人	39,496 人	△ 4,304 人	
入院患者数（1日あたり）		110.0 人	120.0 人	108.0 人	△ 12.0 人	
病床利用率		79.2 %	85.7 %	77.3 %	△ 8.4 %	
外来患者数		36,407 人	39,926 人	37,394 人	△ 2,532 人	
外来患者数（1日あたり）		149.0 人	163.6 人	153.0 人	△ 10.6 人	
薬剤管理指導件数		158 件	180 件	106 件	△ 74 件	
外来心電図件数		1,013 件	910 件	1,009 件	99 件	
エコー件数		255 件	336 件	257 件	△ 79 件	
入院リハ処方数		32 件/月	30 件/月	36 件/月	6 件/月	
訪問リハ単位数		256 /月	250 /月	276 /月	26 /月	
栄養指導件数		849 件	755 件	1,047 件	292 件	
ドック・健診件数		2,344 件	2,375 件	2,418 件	43 件	
④ 経営の安定性に係るもの						
常勤医師数		5 人	6 人	6 人	0 人	
企業債残高		2,835 百万	2,834 百万	2,586 百万	△ 248 百万	

3. 目標達成に向けた具体的な取り組みの実施状況

項目	取組・目標	実施状況の点検結果	評価所見
1. 地域医療構想を踏まえた役割の明確化	<ul style="list-style-type: none"> ①入院及び外来医療の提供 ②在宅系サービスの提供（訪問リハビリ・訪問診療） ③ドック・健診等の提供 ④医療・介護・福祉の連携支援（中心的役割） ⑤医療情報・医療技術等の教育活動 	①～⑤実施できている	概ね目標通りに実施されている。
2. 経営の効率化	(1) 収支改善に係るもの ①未収金対策	目標3,300千円に対し1,905千円	目標達成。
	(2) 経費削減に係るもの ①材料費節減 ②薬剤費（在庫）の削減 ③委託料見直し ④光熱費の節減 ⑤消耗品費等の削減	<ul style="list-style-type: none"> ①診療材料検討委員会を中心に継続的に行っている。また、SPD業者の変更を行いさらなる削減が行えた。 ②目標達成の上、さらなる削減ができた。 ③委託料及び委託業務の見直しを継続的に行った。 ④灯油の毎月見積入札等経費節減対策に努めた。 ⑤破損・修理・購入等稟議厳格化による経費節減意識の定着を継続的に行った。 	概ね目標通りに実施されている。
	(3) 収支確保に係るもの ①10:1看護基準の堅持と新たな施設基準の取得 ②指導及び検査件数の増加 ③高次病院及び診療所（開業医）等との紹介・逆紹介の推進 ④ドック・健診実施件数の維持等	<ul style="list-style-type: none"> ①10:1を堅持した。 ②前年度並みを維持した。 ③紹介逆紹介等について他院との連携をすすめた。ドクターヘリの活用を行った。 ④目標とする件数を達成できた。 	概ね目標通りに実施されている。
	(4) 経営の安定性に係るもの ①経営会議の定例開催実施 ②管理運営会議での活発な意見交換 ③職員の適正配置等 ④栄養科の業務委託 ⑤中・高校生の職場体験受入れ ⑥奨学金貸与制度を活用した免許職の確保 ⑦病院祭等による地域確保（病院理解） ⑧外来待ち時間調査 ⑨患者満足度調査 ⑩その他 ・各種会議・委員会の設置 ・院内研修会・講習会の実施 ・院外研修会等への積極的参加 ・学会等での発表	<ul style="list-style-type: none"> ①定期的に開催し、経営について議論した。 ②毎月開催され、活発な意見交換をした。 ③適正な配置に努めている。 ④給食調理業務委託を行っている。 ⑤地元の学校を中心に受入れを行った。 ⑥奨学金貸与中 2名 ⑦病院祭を10月13日開催した。 ⑧8月に実施した。 ⑨退院時に実施している。 ⑩目標通り実施できている。 	概ね目標通りに実施されている。
3. 再編・ネットワーク化	(1) 再編についての検討 現段階では再編を行う状況に無いと結論	-	※評価対象外
	(2) ネットワーク化についての検討 ①しまね医療情報ネットワーク等医療ICTを活用しながら今後の連携・ネットワークの構築に努める ②近隣病院との情報共有・連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ①しまね医療情報ネットワークへの接続を継続。 ②全自病巣支部各部門会議等による情報共有を行った。また、県内医療機関との連携強化を進めている。 	概ね計画通りに実施されている。
4. 経営形態の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ①病床数削減 ②介護療養型病床の廃止（H29年度末） 経営については当面現在の経営形態を続行する。	<ul style="list-style-type: none"> ①H29年4月に病床数を158床から140床に削減した。 ②今後の経営のあり方を含めて継続審議とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ①は計画通り実施している。 ②は継続審議とした。

4. 収支計画の実施状況

(1) 収支計画（収益的収支）

（単位：千円）

区分	年度	平成29年度 実績 (参考)	平成30年度		差 ②-①
			目標 ①	実績 ②	
収 入	1. 医 業 収 益 a	1,551,831	1,709,287	1,518,384	△ 190,903
	(1) 料 金 収 入	1,341,853	1,499,125	1,307,249	△ 191,876
	(2) そ の 他	209,978	210,162	211,135	973
	うち 他 会 計 負 担 金	80,279	79,794	81,314	1,520
	2. 医 業 外 収 益	476,000	477,818	460,196	△ 17,622
	(1) 他 会 計 負 担 金・補 助 金	440,840	441,553	299,145	△ 142,408
	(2) 国（ 県 ） 補 助 金	0	0	0	0
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	28,954	29,077	152,107	123,030
	(4) そ の 他	6,206	7,188	8,944	1,756
	経 常 収 益 (A)	2,027,831	2,187,105	1,978,580	△ 208,525
支 出	1. 医 業 費 用 b	1,830,842	1,902,723	1,886,682	△ 16,041
	(1) 職 員 給 与 費 c	1,160,704	1,203,521	1,228,950	25,429
	(2) 材 料 費	209,119	245,454	187,247	△ 58,207
	(3) 経 費	267,738	265,772	277,236	11,464
	(4) 減 価 償 却 費	186,492	178,404	187,121	8,717
	(5) そ の 他	6,789	9,572	6,128	△ 3,444
	2. 医 業 外 費 用	102,612	95,560	91,817	△ 3,743
	(1) 支 払 利 息	54,203	49,609	49,639	30
	(2) そ の 他	48,409	45,951	42,178	△ 3,773
	経 常 費 用 (B)	1,933,454	1,998,283	1,978,499	△ 19,784
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	94,377	188,822	81	△ 188,741	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	0	0	86	86
	2. 特 別 損 失 (E)	0	0	85	85
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	0	0	1	1
純 損 益 (C)+(F)	94,377	188,822	82	△ 188,740	
累 積 欠 損 金 (G)	1,583,073	1,394,251	1,582,991	188,740	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	312,563	470,710	269,835	△ 200,875
	流 動 負 債 (イ)	440,297	404,766	433,468	28,702
	うち 一 時 借 入 金	0	0	0	0
	翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ)	0	0	0	0
	当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (エ)	0	0	0	0
	差 引 不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	127,734	△ 65,944	163,633	229,577
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	104.9	109.4	100.0	△ 9.4	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	8.2	△ 3.9	10.8	14.6	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	84.8	89.8	80.5	△ 9.3	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	74.8	70.4	80.9	10.5	
地 方 財 政 法 施 行 令 第 15 条 第 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (H)	127,734	△ 65,944	163,633	229,577	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	8.2	△ 3.9	10.8	14.6	
病 床 利 用 率	79.2%	85.5%	77.3%	-8.2%	

(2) 収支計画(資本的収支)

区分	年度	平成29年度 実績 (参考)	平成30年度		差 ②-①	
			目標 ①	実績 ②		
収 入	1. 企業債	81,200	110,000	63,700	△ 46,300	
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	
	3. 他会計負担金	0	0	196,017	196,017	
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	
	6. 国(県)補助金	13,068	10,000	5,205	△ 4,795	
	7. その他	0	0	0	0	
	収入計 (a)	94,268	120,000	264,922	144,922	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0		0	
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	
	純計(a)-[(b)+(c)] (A)	94,268	120,000	264,922	144,922	
	支 出	1. 建設改良費	94,632	120,000	69,328	△ 50,672
		2. 企業債償還金	303,052	313,917	313,294	△ 623
3. 他会計長期借入金返還金		0	0	0	0	
4. その他		0	0	0	0	
支出計 (B)		397,684	433,917	382,622	△ 51,295	
差引不足額 (B)-(A) (C)	303,416	313,917	117,700	△ 196,217		
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	303,416	313,917	117,700	△ 196,217	
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	
	4. その他	0	0	0	0	
計 (D)	303,416	313,917	117,700	△ 196,217		
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0		
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0		
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0		

- 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。
⇒注釈を適用し、単位を「千円」とした。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

	平成29年度 実績 (参考)	平成30年度		差 ②-①
		目標 ①	実績 ②	
収益的収支	(30,137) 521,119	(30,423) 521,347	(33,725) 380,545	(3,302) ▲ 140,802
資本的収支	(0) 0	(0) 0	(0) 196,017	(0) 196,017
合計	(30,137) 521,119	(30,423) 521,347	(33,725) 576,562	(3,302) 55,215

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。
⇒医師確保対策に対する繰出で性質的には基準内であるが、過疎ソフト充分につき区分するため基準外としている。